

よらねわかた 小合

地域の人口動態

	平成25年7月末現在
世帯数	1,206戸
男	1,921名
女	2,029名
人口	3,950名

2013.9.1 第36号 小合地域コミュニティ協議会 発行責任者：四柳健二 編集：総務部

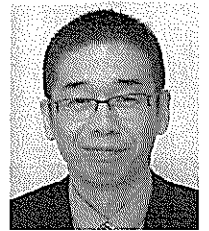


小合コミ協がボランティアで植えた「ひまわり」



小合コミ協が「新津松坂流し」に参加

巻頭エッセイ



「小合」というところ

新潟市立小合東小学校長 中野敏之

ある日、江戸時代の越後国の古絵図を目にすることがあった。信濃川と阿賀野川の合流辺りに目をやると、大鹿新田とあった。小合東小学校区にある地名である。いつから「小合」ができたのか興味を持って帰った。

学校に戻り、早速、校長室の棚にあった『新津市誌』を紐解いてみた。そこには、明治三十四年十一月一日に、小梅村と小鹿村の両村は合併して「小合村」が組織されたと書かれていた。

小梅村には、梅ノ木・小屋場・浦興野・出戸・子成場・四ツ興野・蕨曾根・大秋・川根があり、小鹿村には、大鹿・栗宮・小戸上組・小戸下組がありと書かれている。それぞれの地区の名に由来があり、変画の歴史があることを感じた。

小合東小校区の大鹿においては、鎌倉時代(二四三—二四四三)には辺りすべて孤浦繁茂の湿地であつて、草原には大小の野鹿が群棲し田畑を荒廃せしめたことに、その名が起因すると書かれている。また、同じく小戸上組と小戸下組においては、元もと小戸新田と称する一つの村であつたが、鎮守の

祭典の折いつも紛争が繰り返されるところから、時の名主狩屋家が門より上を上組、下を下組と称したとある。その屋敷の門がどこにあつたのか自分の目で探したくなつた。

さらに、大鹿は江戸時代の寛永十五年(一六三八)、小戸は同じく慶安元年(一六四八)の開発初検の新田とあり、江戸時代から開発が始まっていることがわかつた。歴史を調べてみなければ、ただの二つの地名としか認識せず、そこに一生懸命生きていた人たちの営みなどを感じることができなかつたであらう。

自分の生まれた土地の名の由来や歴史・今を知っていることは、すてきなことであり、自慢できることである。地域で歴史を伝承していくことの重要さを思う。

小合に生まれ、小合に生きる。先人のみなさんがそうしてきたように、一生懸命に生きていく人づくり・地域づくりの一翼を担っていききたいと思う。

シリーズ おらの地域紹介

小合に十四ある各自治会／各町内会から御協力をいただき各地域を、短く紹介して行きます。

地域紹介その①

「小戸下組」町内会

小戸下組には、新潟市指定文化財となっている伝統芸能「獅子おどり」があります。

文化十年(1813)和田村・庚村から伝承されたもので、今年(2023)はちょうど二〇〇年の節目となり、「水と土の芸術祭」として、この八月、和田神社へ舞の奉納をする事となりました。

平成十四年、新潟県伝統民族芸能発表大会(当時の新井市)へ新津市の代表として出演しています、この時の評価が高く、翌年、新潟県の代表として、関東ブロック民族芸能大会(東京二ツ橋)へ出演することとなりました。関東各県の代表は、これも国指定文化財……同じステージに立てるだけでも光栄でありました。

その後は月潟まつりの角兵衛獅子ステージや中野邸美術館などでも舞を披露する機会を頂き、昨年は、ついに、りゅうとびあ「能楽堂」にて「ひのき」の舞台にたつことができました。

地域紹介その②

「浦興野」自治会

浦興野の鎮守、神明宮は、当初神明宮の造営記念日として八月十日は「宵宮」と呼ばれ毎年お祭りをしてきました。

ある年、洪水のため稲がほとんど全滅してしまいました。そこで、お宮さまへのお供えは、くず米の粉で作った「こうせん」しか上げられませんでした。

その後も不作が続く、「こうせん」しかお供えできず、いつしかお祭りには「こうせん」をお供えするのが習わしとなりました。

ある大飢饉の年、村人たちは相談し、お祭りを休むことにしました。すると夜中に大嵐があり、境内の大杉に雷が落ちました。

村人たちは、きつとこれは神様のお怒りのせいと違いないと考え、それからというもの、盛大なお祭りを続けました。

いまも、春秋の祭礼と八月十日の「こうせん宵宮」を行っております。



【浦興野】こうせん宵宮を行う神明宮



【小戸下組】子供達参加の獅子おどり

お茶の間の話題コーナー ダイコンの育て方

大根の種類には練馬大根、三浦大根、桜島大根など、色々種類があります、私たちが育てている大根は青首大根で現在の主流品種です、辛みが少なく甘みが強く、地上に伸びる性質のため収穫作業が楽であることから昭和五十年代に急速に普及しました。

種を蒔く時期は8月後半から、9月初めごろです、移植を嫌うので畑に直まきます。

①まき場所

●水はけのよい場所に、種まきの2週間以上前までに、苦土石灰を1㎡あたり2握りまきます。30〜40センチの深さに耕し、かたまりをくずしてこみをとりまします。

②種まき

●深さ3〜4センチの溝へ25〜30センチおきに元肥として化成肥料を1握り入れます。

●元肥と元肥との間に、タネを1センチ以上あけて5〜6粒ずつ点まします。

●薄く覆土、水やりして2〜3日もすると発芽します。

③間引き

●本葉が2〜3枚になったら、よい苗を3〜4本残して間引きます。

●本葉が5〜6枚で1本立ちにします。根本を持って、残す株の土を押さえてまっすく引き抜きます。

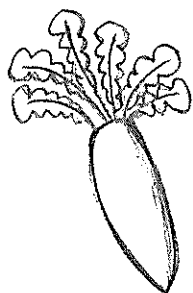
④追肥

●1本残し間引いたあと、畝肩に油かすや化成肥料などを軽く1握り追肥する。

⑤収穫

●大きさを見て12月ごろから収穫できます。

自分で育てた大根は最高ですね。



小合コミセン利用団体合同発表会

平成25年7月7日(日)

今年2回目になる「利用団体合同発表会」が盛大に開催されました。

「小合コミユニティセンター」において福祉厚生部が主体となり「小合コミ協利用者団体合同芸能発表会」を開催しました。参加人員は180名程と大盛況の発表会となりました。

発表会では、銭太鼓・レクダンス・踊り・カラオケ等それぞれ日頃の練習の成果を限られた時間内で最大限に披露しようという大熱演でありました。どの出演者の方にも大変おきな拍手が送られました。特に熟年女性の活躍は大変なものであるとともに女性パワーの凄さが感じられた発表会でありました。

今後の福祉厚生部の活動計画は敬老会(十月十四日)・ふれあい交流会(十一月)・高齢者福祉学級(二月)を予定しております。福祉厚生部員一同、小合地域の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。ご参加ご協力を宜しくお願い致します。

【福祉厚生部】



サークル紹介

「カラオケ」

サークル

コミセン利用のカラオケサークルは現在4サークルがあります。曜日別と参加人数では、

- 日曜日(昼1時より)：16人
- 水曜日(夜7時より)：12人
- 金曜日(夜7時より)：18人
- 土曜日(夜7時より)：10人
- (サークルにより、月4回〜2回)

全体では、女性34人、男性18人が大ホールや集会室にて皆さん自慢の歌声をいつの日か晴れ舞台を夢に見て、練習に励んでおられます。

大声で唄い、笑うことが、健康の基本です。唄うことでストレスの解消、もやもやの発散、明日への活力になります。

今、老若男女を問わず、世代全体でカラオケが静かなブームで、最近、TV、ラジオで歌謡曲の放送番組が増えております。

「カラオケ」4サークルとも、練習日が来るのを、心から楽しみにして練習に励んでおります。

(K.I)



小合コミセン「俳句教室」より

七月二十五日、俳句教室は三回目となりました。三回目からは句会形式で俳句を楽しみました。選句用紙、清記用紙、小短が配られました。締め切り時間を十時三十分としました。今回は三句の投句でした。

小短に三句書きます。清記して回します。自分の句以外の良いと思う句、面白い句を抜き出し、更に良いと思ったものを三句選びます。それを披露します。自分の句が選ばれたら大きな声で名乗りをあげます。名前を言わずに手をあげてしまう人もいます。何回も読み上げられて、自分の名前を言うのも最初は恥ずかしいような気持ちですが、名乗りをあげると、うれしくなるのが不思議です。

披露後、合評します。こんな順序であつてという間の楽しい二時間が過ぎていきました。それぞれ佳句が揃いました。



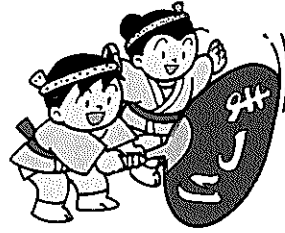
きよし 選

夏の空入道雲を一人じめ
抱かれし子の手のひらに青ぶどう
夏帽子深くかぶつて涼しげに
うなだれし茄子に水やり声をかけ
輝けり雨後の紫陽花風に揺れ
赤茶けし切り通し越え夏の雲
暮れなずむ葎の空に赤とんぼ
浮かびたつ梅雨雲の下弥彦山
七夕や子等の幸せ願ふ母

由美子
晃子
悦子
美智子
すみえ
ゆきえ
みよし
康弘
京子

小合コミ協が初めて新津松坂流しに出場！

「花のふるさと小合」をアピールしました



新潟市に合併する前までは、小合各地で盆踊りが盛んに行われていましたが、今では一部地域でしか行われていません。「踊りに行きたくても行けない」という「踊り好き」の方に集まっていたとき、踊り子の女性15名、男性5名とその応援団、含めて総勢28名で「新津松坂流し」に参加しました。

「新津松坂流し」の歴史は深く、戦国時代に新津地区に伝えられ唄い踊り継がれてきた盆踊り、盆歌です。秋葉区の「伝統文化」として踊り継がれる松坂流しに、小合コミ協では事前に「新津松坂協会」による講習会を2回開催し、出場しました。参加者の、堂々とした踊りを見せていただきました。

秋葉区の11コミ協のうち小合コミ協がトップを切って新津松坂に参加。花の小合をPRしてきました。尚、今回「小戸下組」と「子成場」より踊り着を借りました。ご協力ありがとうございました。(総務部)

平成25年8月16日 新津松坂流し



小合コミ協からの お知らせ

今年の自主防災訓練は、
10月19日(土)午前
10時～12時に
行う予定です。

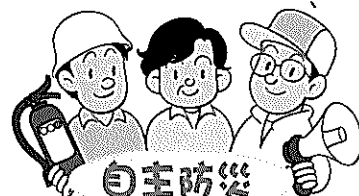
訓練に参加しましょう！

「住民の一人ひとりが自分の命は自分で守る、地域の安全は協力連携してみんなを守る」を昨年まで、各自治会、各町内会毎に基本事項を重点的に訓練してきました。



平成23年7月の新潟・福島水害

●今年の訓練は、災害発生直後の初回期の安否確認と避難所の速やかな開設、円滑な運営が出来るように、防災訓練を実施します。



◇編集後記◇

今年の夏は熱中症の患者が多数出る程の猛暑となりました。

当紙面一面の夏のシンボル「ひまわり」の写真は、六月に小合コミ協が参加した四〇三号線フラワーロード「ひまわり種まき隊」ボランティアの花が見事に咲きました。(I)